



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月2日

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓

問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 小杉 尚

TEL 03-3746-1111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	88,783	0.9	4,868	25.9	9,994	7.9	6,704	9.0
30年3月期第1四半期	88,002	1.2	6,565	24.9	10,857	38.4	7,366	41.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 14,860百万円 (51.7%) 30年3月期第1四半期 30,773百万円 (367.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	38.38	
30年3月期第1四半期	42.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	827,877	612,170	72.0
30年3月期	821,737	600,950	71.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 596,127百万円 30年3月期 585,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		15.00		15.00	30.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		16.00		16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	367,000	1.4	18,000	4.3	27,400	1.8	17,500	1.8	100.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	174,709,837 株	30年3月期	174,709,837 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	41,824 株	30年3月期	41,774 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	174,668,027 株	30年3月期1Q	174,600,828 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料P3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念される中、雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続いております。

このような経済環境下、テレビ広告市況はスポット広告費の関東地区投下量が前年を下回るなど厳しい状況となり、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高887億8千3百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益48億6千8百万円（同25.9%減）、経常利益99億9千4百万円（同7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億4百万円（同9.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

◇放送事業セグメント

放送事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は537億7千8百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は、12億8千5百万円（同57.5%減）となりました。

放送事業の主力である㈱TBSテレビは、当第1四半期連結累計期間のタイム収入が215億7千万円（前年同期比5.1%増）、スポット収入が209億8千4百万円（同4.4%減）となりました。タイムセールスでは、レギュラー番組が堅調に推移したほか、6月放送の「2018 FIFA ワールドカップ ロシア」が売上増に貢献し、前年実績を上回りました。スポットセールスでは、広告主の関東地区投下量が前年同期比4.8%減と低調に推移する中、5局シェアは向上したものの、前年を割り込む結果となりました。

㈱BS-TBSは、当第1四半期連結累計期間で売上高40億3千8百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は4億1千6百万円（同32.4%減）となりました。収入面では、スポット市況の不調やタイム単発セールスの苦戦を、好調のショッピングがカバーしたものの、事業収入などとトータルするとわずかに減収となりました。利益面では、制作費増加などにより減益となりました。

㈱TBSラジオは、開局翌年の1952年から60数年に渡り続けてきたプロ野球ナイター中継の編成を終了するという歴史的改編を行いました。新番組の「アフター6ジャンクション」が善戦し、6月のビデオリサーチ首都圏聴取率調査においてもトップを記録し、2001年8月調査以来、17年・102期連続で首都圏ラジオ首位の座を守りました。収入面では、スポットセールスが順調に推移し、ナイター中継編成時には設定できなかった時報スポットセールスを行うなどの工夫もあり前年を上回りましたが、タイムセールスで若干苦戦し、その他事業収入などとトータルすると減収となりました。一方、利益面ではコストコントロールに努め増益となりました。

◇映像・文化事業セグメント

映像・文化事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は309億6千6百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益13億9千2百万円（同10.7%増）となりました。

興行では、アジア初の360度回転劇場「IHIステージアラウンド東京」において、「劇団☆新感線『髑髏城の七人』」シリーズのラストを飾る『修羅天魔』が、5月末に千秋楽を迎え、大好評のうちに幕を閉じました。2017年3月から1年3ヶ月に渡るロングラン公演となり、延べ約55万人が来場し、ライブエンタテインメントの新しい形を提供しました。4月には恒例のフィギュアスケートイベント「スターズ・オン・アイス2018」を開催し、五輪で活躍したメダリストの競演が実現し、好評を博しました。

メディアビジネス関連では、海外事業において、東南アジア各国への番組販売がやや不調となりましたが、「風雲!たけし城」や「SASUKE」などのフォーマット販売が好調に推移しました。CS事業においては、千葉ロッテマリーンズの中継終了やプラットフォーム加入者の減少に伴い減収となりましたが、横浜DeNAベイスターズの主催公式戦全試合放送やオリジナル音楽コンテンツの拡充など、視聴者増加に向けた施策を行いました。

スタイリングライフグループは、増収増益となりました。中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」は、気温の高さから春夏物など衣料品の売上が伸長し、また、化粧品も好調に推移して増収となり、利益面でも粗利増に伴って増益となりました。化粧品事業では、大ヒット商品を中心に国内外ともに大きく収益を伸ばしたほか、リニューアルしたサロン向け商品の販売が好調となりました。

◇不動産事業セグメント

不動産事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は40億3千8百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益21億8千万円（同4.2%減）となりました。

赤坂Bizタワーは、オフィス、商業施設とも高い稼働を維持しており、堅調に推移しております。

赤坂サカスについては、今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための様々な催事を行い、放送文化の発信地としての地位を不動のものとするを旨としてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,278億7千7百万円で、前連結会計年度末に比べて61億4千万円の増加となりました。現金及び預金が配当金の支払いや投資有価証券の取得等により42億9千1百万円減少、受取手形及び売掛金が42億6千4百万円減少、有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により15億8千2百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が135億6千9百万円増加したこと等によりま

(負債)

負債合計は2,157億6百万円で、前連結会計年度末に比べて50億7千9百万円の減少となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が41億4千1百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が19億8千9百万円減少、未払金が33億6千7百万円減少、未払法人税等が42億2千4百万円減少、賞与引当金が26億1千7百万円減少したこと等によりま

(純資産)

純資産合計は6,121億7千万円で、前連結会計年度末に比べて112億2千万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き31億3千2百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が78億9百万円増加したこと等によりま

この結果、自己資本比率は72.0%、1株当たりの純資産は3,412円92銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上、利益とも、概ね期首の想定範囲内で推移いたしました。

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,850	77,559
受取手形及び売掛金	42,516	38,252
有価証券	300	700
商品及び製品	7,769	8,313
番組及び仕掛品	7,072	8,322
原材料及び貯蔵品	673	650
前払費用	10,971	10,533
その他	4,662	6,163
貸倒引当金	△157	△152
流動資産合計	155,660	150,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	201,667	202,271
減価償却累計額	△110,383	△111,820
建物及び構築物 (純額)	91,283	90,451
機械装置及び運搬具	85,517	85,548
減価償却累計額	△75,623	△76,178
機械装置及び運搬具 (純額)	9,894	9,369
工具、器具及び備品	30,998	31,214
減価償却累計額	△28,464	△28,735
工具、器具及び備品 (純額)	2,534	2,478
土地	84,001	84,002
リース資産	4,237	4,154
減価償却累計額	△2,523	△2,546
リース資産 (純額)	1,713	1,608
建設仮勘定	1,201	1,762
有形固定資産合計	190,628	189,672
無形固定資産		
ソフトウェア	5,734	5,507
のれん	16,798	16,349
リース資産	37	30
その他	1,273	1,329
無形固定資産合計	23,844	23,217
投資その他の資産		
投資有価証券	436,399	449,968
長期貸付金	240	225
繰延税金資産	2,961	2,435
長期前払費用	173	240
その他	12,014	11,958
貸倒引当金	△184	△183
投資その他の資産合計	451,603	464,645
固定資産合計	666,076	677,535
資産合計	821,737	827,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,446	37,456
1年内返済予定の長期借入金	18,200	18,208
未払金	12,773	9,405
未払法人税等	5,891	1,666
未払消費税等	1,377	1,922
未払費用	2,111	1,813
賞与引当金	4,964	2,346
役員賞与引当金	139	27
固定資産撤去費用引当金	73	73
その他の引当金	401	363
その他	8,004	11,266
流動負債合計	93,382	84,551
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
環境対策引当金	121	121
退職給付に係る負債	15,943	15,872
リース債務	679	587
繰延税金負債	92,389	96,530
その他	15,269	15,042
固定負債合計	127,403	131,155
負債合計	220,786	215,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	46,760	46,760
利益剰余金	262,138	265,271
自己株式	△54	△55
株主資本合計	363,830	366,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221,405	229,215
繰延ヘッジ損益	△117	△8
為替換算調整勘定	△34	△6
退職給付に係る調整累計額	△29	△36
その他の包括利益累計額合計	221,224	229,164
非支配株主持分	15,895	16,042
純資産合計	600,950	612,170
負債純資産合計	821,737	827,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	88,002	88,783
売上原価	59,269	61,018
売上総利益	28,732	27,765
販売費及び一般管理費	22,167	22,897
営業利益	6,565	4,868
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	3,823	4,624
持分法による投資利益	402	-
その他	234	735
営業外収益合計	4,466	5,365
営業外費用		
支払利息	99	89
固定資産圧縮損	-	52
持分法による投資損失	-	28
固定資産除却損	17	16
その他	56	51
営業外費用合計	173	238
経常利益	10,857	9,994
特別利益		
投資有価証券売却益	70	40
特別利益合計	70	40
税金等調整前四半期純利益	10,928	10,035
法人税、住民税及び事業税	2,344	1,894
法人税等調整額	1,067	1,221
法人税等合計	3,411	3,116
四半期純利益	7,516	6,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	214
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,366	6,704

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	7,516	6,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,278	7,805
繰延ヘッジ損益	△9	74
為替換算調整勘定	△1	28
退職給付に係る調整額	△11	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	37
その他の包括利益合計	23,257	7,941
四半期包括利益	30,773	14,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,620	14,643
非支配株主に係る四半期包括利益	152	216

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	放送事業	映像・文化事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,639	30,405	3,956	88,002	—	88,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	442	779	1,356	2,579	△2,579	—
計	54,081	31,185	5,313	90,581	△2,579	88,002
セグメント利益	3,026	1,257	2,276	6,560	4	6,565

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	放送事業	映像・文化事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,778	30,966	4,038	88,783	—	88,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	497	803	1,282	2,584	△2,584	—
計	54,276	31,769	5,321	91,367	△2,584	88,783
セグメント利益	1,285	1,392	2,180	4,858	9	4,868

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第1四半期)

(単位:百万円)

区分	前第1四半期 (29.4.1~29.6.30)	当第1四半期 (30.4.1~30.6.30)	比較		前事業年度 (29.4.1~30.3.31)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	45,865	46,264	398	0.9	184,370
タイム	20,521	21,570	1,048	5.1	86,388
スポット	21,960	20,984	△976	△4.4	83,702
コンテンツ	2,473	2,664	190	7.7	10,331
その他	910	1,045	135	14.9	3,948
事業	7,376	6,806	△569	△7.7	29,727
不動産	773	740	△32	△4.2	3,054
合計	54,015	53,811	△203	△0.4	217,152